



No.006

Smiling 2023

一般社団法人

Kids & Smile 広報紙

カンボジア・アフリカ・東ティモールの子どもたちと共に

支援先からの報告

カンボジア・アフリカ・東ティモール

カンボジア シェムリアップより Totet 神父からのレポート

支援者の皆様

カンボジアでは毎年 4 月 13 日から 16 日の間クメールの新年を祝います。

今回は 2022 年 6 月から 2023 年 4 月までの活動や教育の状況をお伝えします。子どもたちが希望を持ち、笑顔になれる多くの活動を行うことができるのも皆様のご支援くださるおかげと心から感謝の気持ちでいっぱいです。



カンボジアの一般的な状況

カンボジアでは現在すべてがコロナ前に戻り、コロナについては話題にはなりません。ただ、政府はまだ市民への注意喚起を継続しています。シェムリアップには、多くの観光客が戻ってきました。クメールの新年は国民のお祝いとして、政府も大々的に楽しく色彩豊かに祝う準備をしていました。また 5 月に第 32 回東南アジア競技大会がカンボジアで開催されるので、より多くの観光客が集まることが期待されています。

今、カンボジアは乾季、気温は摂氏 39 度まで上がります。それでも、炎天下で農業従事者や労働者は家族を養うために日々過酷な労働を強いられています。



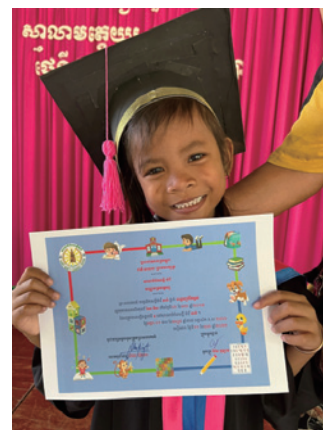
Taom 村 幼稚園の卒業証書を手 2022 年 10 月

■ 学校

今年度は 2023 年 1 月に小学校も幼稚園も通常の体制で新学期が始まりました。教師達は、条件の良い職場があるにも関わらず、昨年と変わらない給料で、ここに留まることを選んでくれました。今年の入学者数は 204 人、昨年度より 20 人減りました。その原因についてはこれから調べます。



Taom 村 卒園式で 2022 年 10 月





皆様のご支援で実施しているプログラムの現状

■ ライススープ プログラム

このプログラムは毎週1回、平日や日曜日に幾つかの場所で継続して実施されています。



美味し〜い !!



チキンカレーとパンで卒業を祝う子どもたち

■ 教育支援

制服、ノート、筆記用具などを援助しています。また、通学に必要な自転車を持っていない少年少女のための自転車の購入や、自転車修理の援助もしています。



通学のための自転車を受け取って
タオム村 教材とカバン配布



ノートと鉛筆を受け取る幼稚園に入る子ども

■ 家族への支援

一部の家族はまだコロナの影響を受けていて食料入手困難な家族には、米と食料品が入ったフードパック（168個）を配布しました。フードパックは1個につき約25ドルです。



食料配布を受け取る少女たち。左の二人の少女たちの父親が重篤な肝臓病のため失業中



お米や食料等の配布
Siem Reap KHna Thmey 村

■ 価値観の育成

子どもや若者が平和共存、協力、清潔、秩序、尊敬、誠実、規律などの価値観を学べるよう、様々な方法で取り組んでいます。



ゲームを通して協力することを学ぶ

■ 信仰について

キリスト教に関心のある子どもや若者は毎週日曜日のカテキズムのクラスに参加しています。色々な活動を通して学び、時間をかけて洗礼を受けるかどうか決めることができます。また、仏教など他の宗教との相互理解の重要性も教えています。



27人の若者に洗礼を授けるキケ司教



宗派を超えての儀式、カンボジア伝統の敬老の意味を込めて水をかける



クメールの新年：僧侶によって行われる老人を敬うための水をかける伝統の儀式



クメールの新年とキリストの復活の両方を祝い水で祝福し合う若者たち



クメールの新年で水の祝福を受けるトテット神父

■ シェムリアップ市内の子どもたちへの支援

前号で市内の貧しい子どもたちに食事を提供したいとお伝えしましたが、子どもたちの多くはカトリック教会に長い間在籍している両親の子どもたちです。家庭は貧しく、その多くは信仰を捨て経済的にも破綻しています。そのため、子どもは麻薬に手を出したり、また、刑務所を出たり入ったりする若者もいます。

そこで、2022年10月より、週2回、火曜日と金曜日に夕食の提供を開始しました。7歳から18歳までの49人がやっています。子どもたちは午後遊びに来て、自分達で夕食を作ります。そして毎食後、一緒に祈り、それぞれの家に帰っていきます。このプログラムのお陰で子どもたちは学校や教会の活動に定期的に出席することが多くなり、以前より生き生きと幸せそうに見えます。

「水かけ祭り」はクメール正月にあたる4月に行われる行事です。お正月と言えば、一年を終え、新たな年を迎える節目で農民にとっては祝日であると共に、体を休め旧年中の汚れを落とし、新たな年が祝福で満たされるよう、誰彼構わず水を掛け合うのが水かけ祭りの伝統です。



司牧センターに集う子どもたち。虐待、育児拒否など辛い過去を持つ子どもが多い



司牧センターに毎週火曜・金曜に集まる49人の貧しい家庭の子どもたち。遊び・学び・食事を共に過ごしている

■ 2021年度の収支決算についてご報告いたします。

2021年10月1日～2022年9月30日

2021年度 決算報告

科 目		実 績	備 考	
収入の部	寄付金収入	¥7,208,000	賛助会員他 寄付金	
	販売収入	¥610,000	卓上カレンダー販売	
	収入計	¥7,818,000		
支出の部	寄付金	アフリカ	¥2,780,181	聖マリア修道女会 アフリカ管区
		カンボジア	¥992,844	カンボジア シェムリアップ教会
		ウクライナ	¥209,100	ウクライナ緊急支援
		寄付金計	¥3,982,125	
	運営活動費	通信費	¥349,864	切手・サーバー使用料他
		事務用消耗品費	¥9,678	宛名ラベル他
		支払手数料	¥88,629	振込・振替手数料
		支払報酬料	¥475,519	弁護士・税理士報酬
		印刷費	¥175,330	広報誌・カレンダー・礼状
		雑費	¥3,300	貸し会議室使用料
		法人・事業税等	¥81,400	法人住民税・事業税
		減価償却費	¥8,040	ロゴ商標権
		運営活動費計	¥1,191,760	
支出計	¥5,173,885			

親愛なる恩人たちへ

Kalemie (コンゴ民主共和国東部・キブ州) に於ける私たちの活動について

1 カウンセリングセンターの設置

コンゴ東部の治安は最悪の状況にあります。日本の皆さんには想像できないでしょうが、ここでは今だに武装勢力による部族間の争い、誘拐、略奪、武装強盗などあらゆる暴力がはびこり、すべてが不安の中にいます。

このセンターでは、少女や若い女性に対する性的暴力により、心に傷を負った人々を受け入れ、カウンセリングを行っています。また、住み慣れた村や田畑を捨てて、見知らぬ土地へ逃避せざるを得ない多くの人々は、ここでは働く場無く、また、農業等の生産手段を持たない人々は、貧困の中に捨て置かれるなかで、多くの人が感染症に罹り、栄養失調に陥っています。

この Kalemie でのカウンセリングセンターでは心理的支援を行うとともに、健康相談、バランスの取れた食生活の指導も実施し、衛生に対する知識を与え時には農業技術の支援も行っています。

栄養失調の患者にはタンパク質食品、野菜、果物（ビタミン）や栄養のある食品を与え、体力を回復するよう指導しています。また、病院に搬送する前に、初期医療処置も行っています。例えば駆虫薬、皮膚感染症治療のための軟膏を与え、ビタミン剤投与などを行っています。

2 学校の建設

あなた方の支援により昨年からの建設が始まり、6 教室からなる小学校を建てることができました。私たちに愛情あふれる定期的な援助をくださる皆様に、感謝の気持ちを絶えることなく、いつもいつも心から感謝していることをお伝えします。

聖マリア修道女会アフリカ管区長 Sr. Mulere Joseph
ダルエスサラーム（タンザニア連合共和国）にて
2023 年 6 月 19 日



カウンセリングセンターでの活動



栄養失調の子どもの診察



栄養失調の子どもたちへのお粥の配給



Kalemie 小学校：卒業式



新しく完成した小学校校舎



カンガス神父様の近況



ルイス・カンガス, SJ
カトリック山口教会助任司祭

カンガス神父様は、6月25日で97歳を迎えられました。97歳とは思えないほどの軽やかな足取り、お声もとてもはっきりしていらっしゃいます。山口教会ではお誕生会を6月23日に行いました。ユーモア一杯のご挨拶でした。

5月には姪御さんご夫婦（イギリス在住）と甥御さんご夫婦（スペイン在住）が日本を訪問され、山口教会までいらしていただき楽しい時間を過ごされました。

カンガス神父様のグループ勉強会は月、火、木、金、土に開いています。神父様曰く「今の私は、イエス様のことを皆さんに伝えるのが生きがいです」と、どの勉強会も皆さんと楽しく一生懸命！

山口サビエル記念聖堂の前には、亀山公園という小高い（山？丘？）があります。そこを雨の日を除いて毎日登りにいらっしゃいます。公園では口ザリオを唱えながら歩かれるそうです。きっと、神父様のお元気の秘訣は、早起き、お祈り、お勉強、早寝、お食事は控えめという決まった日課を過ごされているからでしょう。

それから、忘れてはいけないのは、神父様は『イエス様がだあああ好き』なことです。いつもイエス様と楽しく（たまには喧嘩もなさるそうです）お話しなさっているそうですよ。（私たちも見習わなくては）



カンガス神父様の姪御さん夫婦と甥御さん夫婦が山口訪問 2023年5月



池尻 廣幸神父 中井 淳神父とともに
広島「長束みこころの家」で 2023年5月

一枚の青葉

家の近くで小さな女の子が風に乗って落ちてくる桜の青葉を、とても楽しそうに拾い集めていました。

見ている私もなにか楽しくなり、しばらく眺めていると、女の子は青葉を一枚私に手渡してくれたのです。私はとても嬉しく幸せな気持ちになりました。この女の子は、人と分かち合うことが私たちの自然



な気持ちによるものだということを、伝えてくれたのではないのでしょうか。

Smiling を読んで、アフリカやカンボジア、東ティモールの子どもたちへの支援について考えると、あの女の子の純粋な気持ちを思い出します。

たった一枚の葉でも支援先の子どもたちには、大きな喜びと幸せをもたらすのです。（会員からの投稿）



アタウロ便り 報告：小口 光

2022年12月30日から2023年1月3日の五日間、東ティモールのアタウロ島を訪問しました。

今回は、2021年横浜で開催されたクリスマス・チャリティーコンサートでもご協力を頂いた、歌手の平野奈緒子さんとご家族の高校生、中学生のお二人も同行されました。

聖マリア修道女会の東ティモール活動拠点であるアタウロ島のペロイに到着しシスター方を訪ねました。敷地に設置されたコンテナを改造した教室には、小さな机と椅子が並んでました。



コンテナを改造した教室

■マカダデに行く

12月31日の大晦日からお正月にかけて、マカダデという山に、ダニエル神父と、シスター3名とともに1泊2日で滞在しました。

焼いたパンとオムレツと寝具などを持ち、四輪駆動車に乗って数時間凸凹道を揺られて到着しました。

山の上では村の人たちや子どもたちが、私たちの到着を首を長くして待っていました。山の上には、学校は小学校しかなく、授業も1日2時間しかありません。



コンテナの教室で、机と椅子に囲まれて“大きな栗の木の下で”を歌う平野さん



マカダデの山



マカダデの子どもたち



Sr. エイフィメは、白いコピー用紙を星型に切ったものを子どもたちに配り、色鉛筆で子どもたちは思い思いに色を塗りました。様々な色に塗られたそれぞれの星を皆で見ながら、シスターは、皆一人ひとりが違うからお互いに助け合って、自分の色を輝かせていけるのですよ、と話されました。私たちも、折り紙やあやとりで村の子どもたちと一緒に遊びました。



■山の上の人々との年越し

大晦日の夜、山の上の小さな教会でミサに与りました。座るところがないくらい大勢詰めかけた村の人々、躍動感あふれる指揮、若いお母さんたちの聖歌隊が力強く歌い、お祖母さんは小さな孫たちを連れて参加していました。お孫さんたちはミサの途中で眠くなって、床に敷かれた布の上で眠ってしまいました。

山の上は、夜はとても冷え込むので、私たちは持ってきた寝具にくるまり夜を明かしました。





ベロイ 海辺で遊ぶ子どもたち

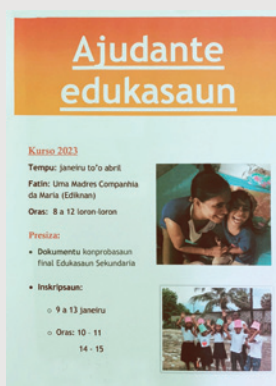


海辺で遊ぶ子どもたちとの対話

■ これからの計画

山から下りてベロイに戻り、シスター方から今後の活動計画について伺いました。

幼稚園の先生の養成計画があり、既に二人の応募者があって勉強を開始したそうです。東ティモールの人々が東ティモールの子どもたちの先生になることで、継続的な幼稚園の運営につながると話されていました。



幼稚園の先生養成者募集のポスター



アタウロ島 どこまでも青い空と透き通る海

■ 折り紙を教える



シスターたちから、折り紙を覚えたいとのリクエストがあり、平野さんと折り紙教室を開きました。

私たちが持参した色のついた折り紙を使うのはもったいないと、コピー用紙を正方形に切り取り、空で覚え込むまで何度も何度も練習しました。

最終日は天候の影響で島から出る飛行機や船が欠航するなど、ハプニングもありましたが、飛行機を4度乗り継ぎ、ようやく日本に戻りました。



■ マリア会総長来日 2023年1月

聖マリア修道女会のローマ本部から Maria Rita 総長が来日され、1月28日 Kids & Smile のスタッフと東京でお会いしました。

アフリカやアジア（東ティモールやベトナム、フィリピン）での活動についてお聞きし、東ティモールについてはこのアタウロ島での活動が初めてで、コロナ禍の中の影響もあって当初の予定よりスタートが遅れました。

アタウロ島は地理的にも東ティモール本土から隔絶された場所にあって、現地のシスターの活動も孤立しがちでしたが、Kids & Smile の支援者の皆様から心温まるサポートが始まり、とても感謝しているとの言葉を頂きました。私たちも、プロジェクトの当初から微力ながらこうして参加させていただけていることがとても豊かな経験であるとお伝えしました。



Rita 総長 左から4人目

Essay

～ 愛 徳 ～

私たちは、5月広島で行われた7か国のサミットをTVなどで見聞きしました。そこで私が感じたことは、世界の全ての国々が正義に基づいた基準を守り、それに守られる義務と権利を私たちは持っているということです。そして、そのルールのががりが必要であると感じています。

教会の幼稚園の子どもたちに話をしている時に、園児は私に抱っこして欲しいと思い手を伸ばしながら近寄って来ますが、私がそれを拒んでしまうとその子どもの心は小さな傷を負います。その拒みは不正義です。

今、世界の多くの子どもたちが、一日の食べ物を得ることも、大切な教育も受けられずにいます。それは不正義なことです。時々、私たちはこの不正義に無関心になってしまうことがあります。自分が持っている力で正義を実現するため、貧しく弱い子どもたちに希望を届ける助けを積極的に活動している方々もいっぱいいます。

皆さんが支援ををしている子どもたちも不正義の中で苦しんでいます。

先日、アフリカのシスターから「子どもたちが新しい教室に集まり勉強している姿を見るのは本当に嬉しいことです」とメールが来ました。

あなた方の暖かい援助によって子どもたちは希望を見出し、生かされて来ています。

私は、皆様の暖かいその手を思い出すたびに、イエス様が教えてくださった言葉(マタイ 25 章 40 節)を思い出します。跪いて祈ることも大切ですが、それだけではなく人間としての正義の社会を作ることに力を注ぎ、行動で示すことも大切です。

イエス様が教えてくださったのは愛徳です。

(2023.6 ルイス・カンガス記)

お知らせ

■ 2024 年版カレンダーについて

ご好評いただいている卓上カレンダー『カンガス神父様と子どもたち』ですが、皆さまから「継続してほしい……」とのお声が多かったため、今年も販売することが決定いたしました。

● 詳細は 10 月上旬にご案内させていただきます。どうぞご期待ください。



一般社団法人
Kids & Smile

私たちの団体の活動は、皆さまからの会費およびご寄付によって運営されています。

私たちの団体の目的に賛同し一緒にアフリカ・カンボジアの未来を築いていく賛助会員を募集しています。

その他、随時のご寄付については、何時でもお幾らでも感謝のうちにお受けいたしております。

支援してくださる全ての方に、年2回発行の会報誌および Newsletter (不定期) などをお送りいたします。

会費

賛助会員 1口 2,000円

団体会員 1口 10,000円

ご寄付の方法

【郵便振込の場合】

郵便振替口座 00110 -1-265940

加入者名：Kids & Smile

【銀行振込の場合】

三井住友銀行麹町支店

普通預金口座 店番号 218 口座番号 9415509

〒105-0003

東京都港区西新橋2丁目18-2 新橋 NKKビル7階

TEL.03-4405-4067

Web サイト www.kids-and-smile.or.jp/

E-mail : info@kids-and-smile.or.jp

